



和歌山県 紀北川上農業協同組合

『柿を世界へ』

【主な品目】

柿

【主な輸出先国・地域】

豪州、米国、カナダ、タイ、香港、マレーシア等

【輸出取組の概要】

- ◆ これまで、タイ及び香港などアジア諸国を中心に輸出。
- ◆ 平成28年度より北米市場を開拓するため、カナダへの輸出を開始、平成29年12月には米国向け日本産柿の輸出が解禁後、初めての輸出を行った。
- ◆ 平成30年11月には、臭化メチルくん蒸処理によらない新たな検疫条件により豪州へ日本から初輸出を行った。

【輸出実績】

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成29年度	2,841	73	9~12月
平成28年度	2,722	80	
平成27年度	2,223	56	

【効果があった取組】

JAグループ、県、JETRO三者連携により、PRセミナー、現地商談及び販売促進活動など総合的なプロモーションを行えた。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 使用できる農薬が限られているため、病害虫防除が困難。
- ・ 相手国で初めての商材であるため、商流構築及び鮮度保持に苦慮。

【生じた課題への対応】

- ・ 米国向け、豪州向けそれぞれに特別な防除暦を作成するとともに、農薬メーカーに対し、インポートトレランスの設定に向けた働きかけを行った。
- ・ 日本側及び相手国側で、柿を適切に輸送し、販路開拓できる商社を探索した。

【対応の結果】

- ・ 米国向け輸出柿に使用できる農薬の幅が広がった。
- ・ 現地での販路を着実に開拓できた。今後、より有利販売につながる販路を探索するとともに、相手国での消費者ニーズ(パッケージング、グレード、サイズなど)を把握する必要がある。

【今後の課題・展望】

- ・ 果実に発生した黒点の原因究明と輸送方法等の改善。
- ・ 現地産柿との差別化手法の検討。
- ・ 現地における日本産柿の認知度向上のための地道な普及活動。

【活用した支援・施策】 和歌山県「果樹産地競争力強化総合支援事業」

【ウェブサイト】 <http://www.ja-kihokukawakami.or.jp>

【連絡先】 担当者名:北本 TEL:0736-42-5361



シドニーでのPRセミナーにおいて青果物卸商との意見交換



ロサンゼルス レストランでのPRセミナーの様子